

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
2026 年 5 月 19 日	
都道府県知事 達増 拓也 殿	
提出者 住 所 岩手県西磐井郡平泉町字桶の沢56番地 氏 名 大協企業 株式会社 代表取締役 武居 直人 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0191-34-2131	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大協企業 株式会社 花巻工場
事業場の所在地	岩手県花巻市太田第58地割27-1
計画期間	2026 年 4 月 1 日 ~ 2027 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業〔生コンクリート製造〕
② 事業の規模	製造製品出荷額 534,035 千円
③ 従業員数	13名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚 泥
	排 出 量	2,458.83 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 現場との連携を密にし、戻りコンクリートの発生量を抑える。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚 泥
	排 出 量	2,000 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 少量の戻りコンクリートの有料化を実施。 0.3m ³ 以下は一律2,900円 それ以上は1.0m ³ /9,000円		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 7 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚 泥
	全 処 理 委 託 量	2,458.83 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2,458.83 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	汚 泥
	全 処 理 委 託 量	2,000 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2,000 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書

大協企業株式会社 花巻工場

1. 会社概要

(1) 会社名

大協企業株式会社 花巻工場

(2) 資本金

3,400 万円

(3) 従業員数

13 名

(4) 製造品出荷額等

534,035 千円 (令和 7 年度)

(5) 製造量 (生コン出荷量)

23,719 m³/年 (令和 7 年度)

(6) 工場組織図

図1参照

(7) 事業展望

大型物件の出荷終了により出荷数量減。

(8) 廃棄物処理フロー図

図2参照

(9) 連絡先

大協企業株式会社 花巻工場

TEL 0198-22-3847

2. 計画期間

2026 年 4 月 1 日 ~ 2027 年 3 月 31 日まで

図1 製造工程フロー

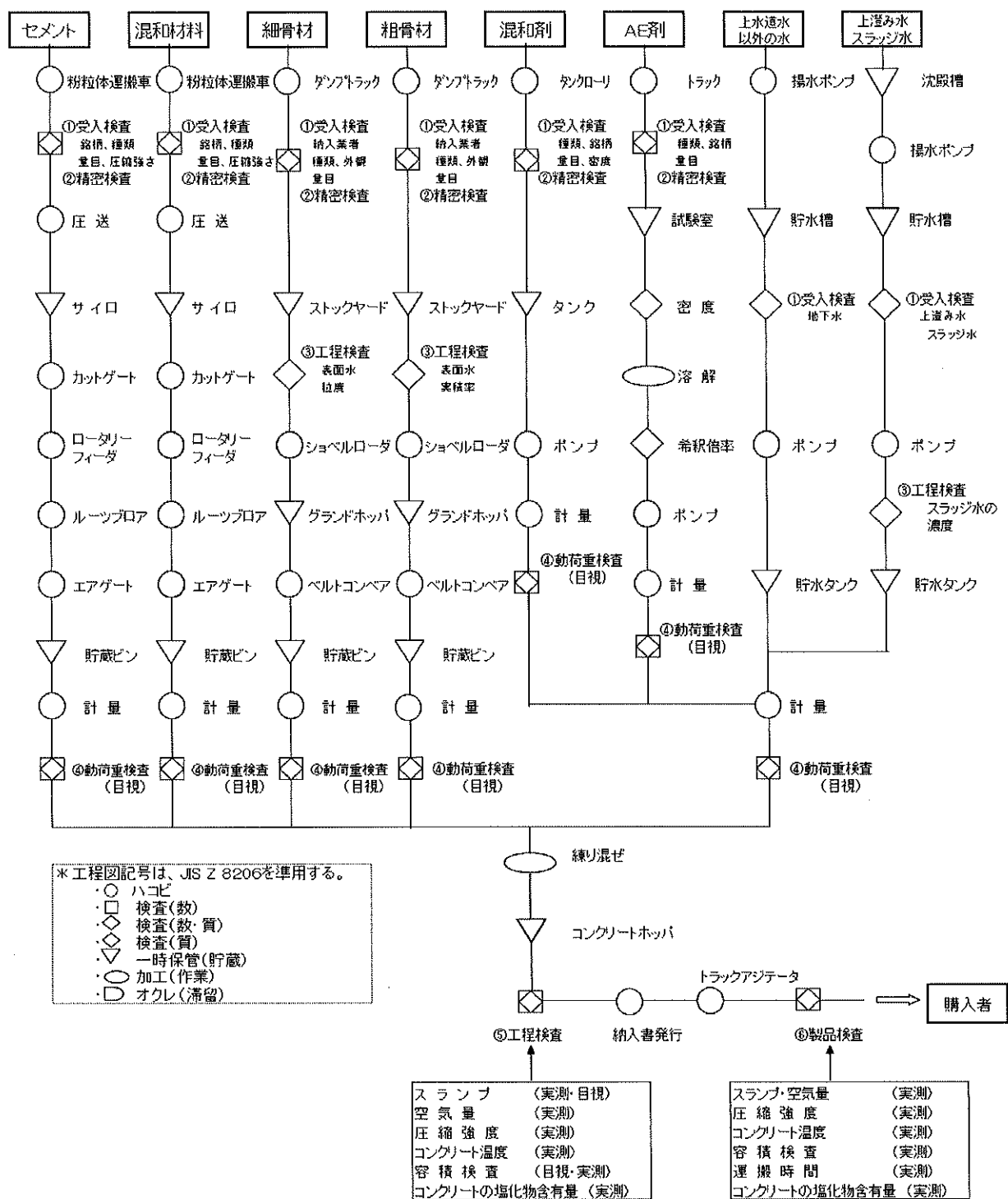


図2 工場配置図

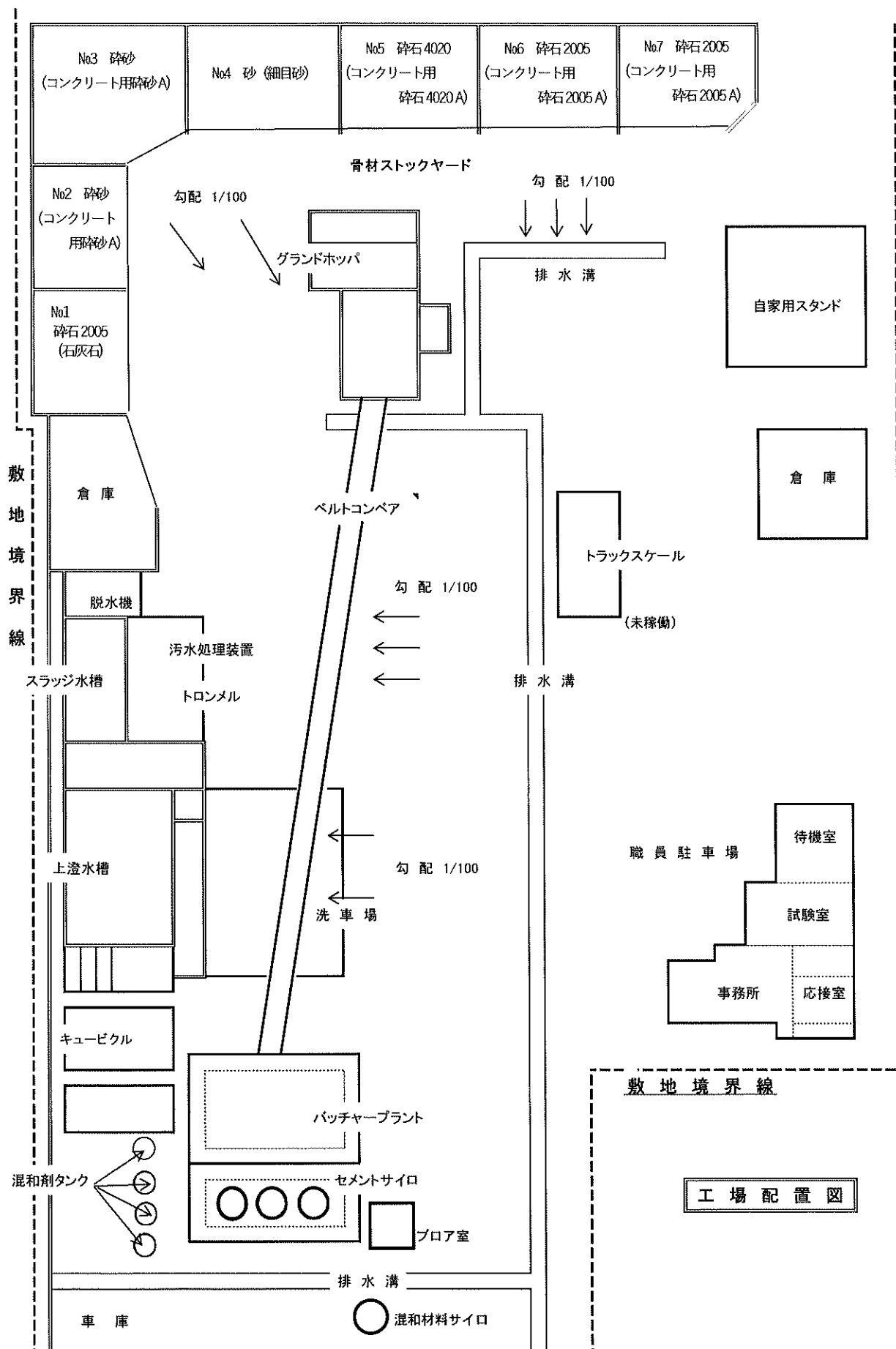


図3 工場組織図

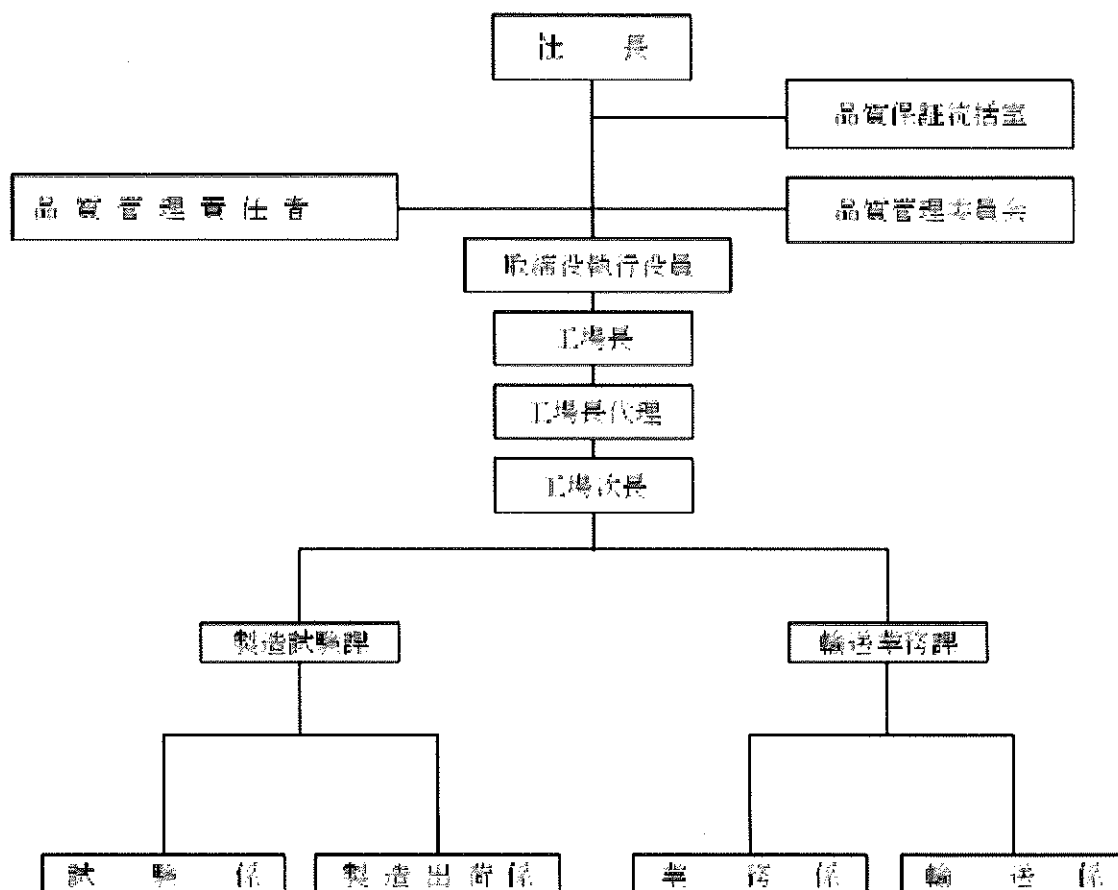
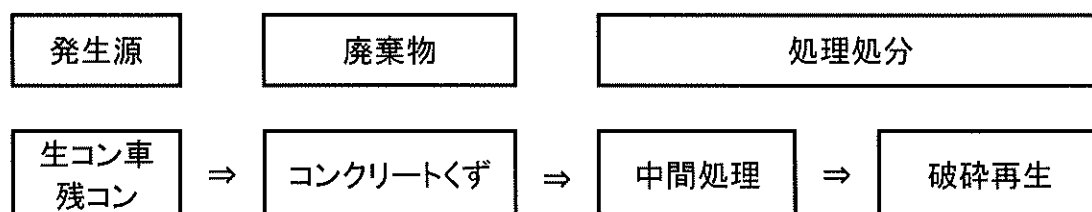


図2 廃棄物処理フロー図（現状）



3. 策定事項

(1) 計画期間

2026 年 4 月 1 日 ～ 2027 年 3 月 31 日 まで

(2) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

少量の戻りコンも有料化となり、戻りコンが削減される見通し。
出荷数量及び施工業者との連絡を密にして、戻りコンの発生数量を抑えること。

(3) 産業廃棄物の再生利用に関する事項

戻りコンの数量が少ない場合は、分離機を使用してスラッジ水を取り出し、再利用することとする。